

# こもろ 市議会だより

No. **163**  
平成28.1.27



12月定例会

3月定例会は、  
2月23日(火)開会の予定です



平成28年 消防出初式

**新年明けまして  
おめでとうございます。**

## 主な内容

- 12月定例会の概要 ..... 2～3ページ
- 常任委員会報告  
議会と語る会 ..... 4～5ページ
- 一般質問 (17名)  
議員紹介コーナー ..... 6～14ページ
- 議員研修会・意見交換会 ..... 15ページ
- まち再生特別委員会報告  
傍聴席・編集後記 ..... 16ページ

# 野岸小学校 耐震化工事未実施問題を受け 仮設校舎に係る補正予算を可決

平成27年第6回12月定例会は、11月24日から12月15日の22日間の日程で開かれました。本定例会に理事者から提出された案件は、補正予算関係、条例、人事等25件で、それぞれ同意、可決しました。また、議員より、各省庁への意見書の提出を求める発議など3件を提出し、全て可決しました。

## 主な議案

### ◆野岸小学校関連議案

#### 平成27年度小諸市一般会計補正予算(第6号)

野岸小学校耐震化工事未実施問題について、まず、最優先すべきは児童の安全安心な学習環境を確保することです。

最短期間で仮設校舎への移転が可能なリース方式により仮設校舎を調達するため、最終日に理事者より補正予算が提案され可決しました。

リース契約の内容は、期間を平成28年度から平成30年度まで、限度額を2億7千300万円とするもので、リース期間は平成28年7月から平成31年1月までの2年7カ月、面積は約2千100平方メートルを予定するものです。



リース方式では、仮設校舎の設計・建設から使用後の解体まで一括して契約するもので、建設期間となる本年度中の支払いが発生せず、使用開始する来年度からリース料が発生することから、本補正予算では、歳入歳出予算額の変更はなく、複

数年で契約するための債務負担行為の追加を可決しました。

### 野岸小学校管理棟(南校舎)耐震対策未実施についての請願

野岸小学校PTAより管理棟(南校舎)の耐震工事が未実施であることが発覚したことから、早期に仮設校舎を建設し、児童、教職員が安心して学校生活を送れるようにするとともに、原因究明の徹底及び再発防止策を策定することを求める請願が提出され、全会一致で採択しました。

### ◆補正予算

#### 平成27年度小諸市一般会計補正予算(第5号)

一般会計の歳入歳出予算にそれぞれ6千万円追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ195億1千万円とする補正予算案が提出され、すべて可決しました。主なものは次のとおりです。

○総務費では、マイナン

バーカードの交付に係る経費と平成28年4月からのパスポート発給事務に必要な機器の購入費用として、80万2千円の追加補正を可決しました。

他に、夏の参院選より選挙権年齢が引き上げられることに伴い、選挙人名簿のシステム改修費用として、35万5千円の追加補正を可決しました。

○衛生費では、省エネルギー機器導入補助金の申請増加に伴い、40万円の追加補正を可決しました。

○農林水産業費では、シカ肉商品化用施設の土地購入費用として、1千62万円の追加補正を可決しました。

○土木費では、行政区等の小型除雪機購入費用に対する補助金として120万円の追加補正を可決しました。

他に、大手門公園隣接地の土地購入費、また、今年度で制度が終了となる修理修景事業

補助金として1千173万1千円の追加補正を可決しました。

○教育費では、幼稚園就園奨励費補助金の交付見込みにより、1千235万8千円の追加補正を可決しました。

### ◆条例

今定例会では、10件の条例議案を可決しました。可決した主な条例は、次のとおりです。

小諸市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例

平成28年1月からマイナンバーの利用が始まることから、番号法(※)の規定に基づき、小諸市独自の個人番号の利用及び特定個人情報の提供について必要な事項を定めるものです。(※行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律)

**小諸市工場立地法地域準則条例**

工場立地法に定められた緑地面積及び環境敷地面積の基準を条例により緩和し、市内企業の積極的な設備投資と企業立地の促進による雇用の拡大を図るものです。

**小諸市農業集落排水施設条例の一部を改正する条例**

現在、市内に5つある農業集落排水処理施設のうち次の3地区の施設使用料について、平成28年度からは、定額制から水道の使用量に応じた従量制へ制度変更をし、使用料の徴収についても水道使用料と一括徴収するものです。

- ・耳取・市地区
- ・平原地区
- ・宮沢・大杭地区

◆一般議案

**指定管理者の指定について**

指定期間が平成28年3月末で満了となる次の5施設について、4月以降

の指定管理者として、現在の管理者を引き続き指定することについて可決しました。

※以後、施設名称（指定管理者）の順で記載

- ・小諸市デイサービスセンターあさま（佐久浅間農業協同組合）
- ・多機能型福祉施設小諸みかげ（社会福祉法人長野県知的障害者育成会）
- ・ワークポート野岸の丘（特定非営利活動法人ウイズハートさく）
- ・小諸市北国街道ほんまち町屋館（本町区）
- ・小諸市北国街道荒町館（荒町区）

**人事**

**小諸市等公平委員会委員**

3名のうち、1名の辞職があったことから、次の方を後任の委員として同意しました。

渡邊 頼雄氏（六供区）

任期は、前任者の残任期間となる平成30年3月31日までです。

**意見書**

12月定例会では、次の意見書が可決され、関係省庁へ送付しました。

**●介護労働者の処遇改善及び人員配置基準の改善を求める意見書**

内閣総理大臣ほか

（要旨）

超高齢社会を迎える中、団塊の世代が75歳以上となる平成37年には、介護労働者が37・7万人不足すると推計されています。人材不足は、地域の介護施策に深刻な影響を与えます。

人材確保・離職防止対策及び安全・安心の介護を実現していくために、国の施策として介護労働者の処遇改善及び人員配置基準の改善を実現することを求めます。

**●子どもの医療費助成制度の創設等を求める意見書**

衆議院議長ほか

本意見書については、

11月に実施した「議会と語る会」にて、子育て支援をテーマに市民の皆様と意見交換をしましたが、その中で出された意見をもとに、議員発議により関係省庁へ意見書を送付するものです。

（要旨）

子どもの医療費助成制度は、各自治体で実施していますが、自治体の財政力等により対象年齢や助成の程度に格差が生じることは望ましくなく、本来、医療保険制度を担う国において統一的に実施されるべきものです。

安心して子どもを産み育てることのできる社会を築くため、全ての子どもを対象とした医療費助成制度を国の制度として早期に創設することを強く求めます。

**請願・陳情の審査結果**

種類	件名	氏名	結果
請願	野岸小学校管理棟（南校舎）耐震対策未実施についての請願	野岸小学校PTA会長 田中 隆之	採 択
陳情	最低制限価格の設定に関する陳情書	一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長 池田 修平 外1名	不採択
	介護労働者の処遇改善及び人員配置基準の改善を求める陳情	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子	採 択

12月7日  
経済建設委員会  
報告

■小諸市工場立地法地域  
準則条例

質疑

緑地は企業のイメージや景観に必要なことと思  
うが、企業敷地の緑地面積を20%から10%に半減することは、小諸の自然環境を考えた時のイメージとしてはどうか。

答弁

今ある工場立地法は昭和48年にできたもので、当時は、汚染や自然破壊が進んだ時期で、それを防止するための立法でした。現在は、他市も制定しており、多くの雇用に貢献している企業が小諸市に存続していくためにも条例の制定をしたい。  
■北国街道ほんまち町屋館の指定管理者の指定について

質疑

条例には歴史と文化を生かしたまちづくりを推

進し、地域の活性化に資する目的での設置とある。運営を都市計画課が所管するのはどうか。

答弁

来年度に向けて、商工観光課と都市計画課での連携を検討したい。

■北国街道荒町館の指定管理者の指定について

質疑

直近の運営は、地域コミュニティだけの活動となり、所期の目的とは全く違った使い方をしているが、指定管理をする以上は目的意識を持った運営を要望するがどうか。

答弁

「まちづくり」への寄与を目的に、国の補助を受け建設したが、現在の活動の実態は、公民館的な活用であるため、今後、荒町区へ引き取りの交渉をしていきたい。

■平成27年度小諸市一般会計補正予算(第5号)討論

【反対の意見】

本町通りのポール購入費について、平成13年に竣工し、ゆとりある歩行



時速30キロ以下に制限した本町通り

者空間をつくるため、一方通行化を進める目的で議会が議決した経過があるが、15年間骨抜きの状態できている。一方通行を推進するため現状ではこの予算は認められない。

【賛成の意見】

本町通りは、懐古園と街中を回遊するための主要な場所であり、観光客が安心してきれいな町並みを散策できる環境づくりは喫緊の課題である。本町の皆さんからもポールを立てたい機運が高まってきたとすれば絶好の機会。ゾーン30(時速30キロ以下)でのポール引き上げを実現し、早期に歩行者優先道路として一方通行を実現していただきたい。

{ 採決の結果可決 }

12月8日  
総務文教委員会  
報告

■財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例

質疑

改正により行政財産も無償貸付や減額貸付が可能とのことだが、想定している貸付はどうか。

答弁

野岸の丘総合福祉センター一階部分の小諸市社会福祉協議会の使用は、行政財産の目的外使用という形で一時的に対応しており、また、小諸厚生総合病院との基本協定に



野岸の丘総合福祉センター

より市庁舎敷地の一部を無償で貸し付けることになっていきます。

■平成27年度小諸市一般会計補正予算(第5号)

質疑

企画費の地図情報システムは具体的にはどのように使用するのか。

答弁

各区で作成している支え合いマップなどは、紙ベースであり更新が難しいため、システム化することにより更新も容易になるとともに、通学路点検や危険箇所など、様々な情報を一括で管理し、提供もできるようになります。

質疑

投票権年齢が引き下げられるが、投票率向上のための対策は考えているか。

答弁

高校3年生には、副教材が配布されており、長野県選挙管理委員会による出前講座を行った高校もある。また、住民票を異動せずに県外の大学等に進学している学生が多

いので、居住地の選挙管理委員会を通じて不在者投票ができる制度を利用するよう周知したい。

■平成27年度小諸市一般会計補正予算(第6号)

質疑

野岸小学校の仮設校舎をリース方式とした理由は何か。

答弁

建設の場合は設計に半年、工事に半年で一年程度かかるが、リースの場合は設計と工事併せて半年で完成する。また、工事費についても31カ月使用の場合では、建設のほうが高額のためリースとしました。

質疑

リース期間が31カ月ということは、この期間で校舎の建て替えが可能ということか。

答弁

耐震補強か改築かということもこれからの議論になります。改築の場合、設計に1年、工事に1年半程度かかる見込みのため、31カ月あれば改築も可能との判断です。

12月9日  
福祉環境  
委員会  
報告

■平成27年度小諸市公共  
下水道事業会計補正予算  
(第3号)

質 疑

小諸市農業集落排水施設条例の一部を改正する  
条例

質 疑

料金制度が定額制から  
従量制に移行するが利用  
者の同意は取れているの  
か。

答 弁

以前から、地元利用者  
へ説明と協議を重ねてき  
た。結果同意を得ること  
ができた。将来的には公  
共下水道へ一本化したい。

■小諸市下水道条例の一  
部を改正する条例

質 疑

下水道熱利用の予定者  
はあるのか。使用料徴収  
の方法はどうか。

答 弁

現在1社から設置希望  
がある。使用料の徴収は、  
全国初の事業で、採算  
面・技術面で未確定であ  
り1年間の稼働を行った  
上で事業者と協議します。

質 疑

国からの補助金減額に  
より事業先送りとのこと  
だが、大久保処理施設改  
修と松井川雨水幹線対策  
工事への影響はどうか。

答 弁

処理施設については維  
持管理をしっかり行えば  
支障はない。松井川の雨  
水対策は、先送りとなる  
が改修を進めていく計画  
は変わらない。

■平成27年度小諸市一般  
会計補正予算(第5号)

質 疑

パスポート交付事務が  
県より移譲となるが、対  
応はどうか。

答 弁

平成28年4月1日から  
市民課窓口でパスポート  
に関する事務はすべて行  
う。混乱が生じないよう  
広報と職員の研修を行  
います。

質 疑

マイナンバー通知カー  
ドの送付状況はどうか。

答 弁

市内1万8千690世帯に  
発送した。宛名なしなど  
返戻があるため、再発送  
し早くお手元に届くよう  
にしたい。

質 疑

環境白書では、ごみの  
量が増えているとの統計  
があるが、その理由と対  
策はどうか。

答 弁

人口が減少しているが、  
核家族化が進み世帯数が  
若干増えていることが原  
因と分析している。今年  
度からごみ減量アドバイ  
ザー事業が始まり、研修  
も終わり地域で活動する  
準備が整ったので、ごみ  
減量の啓発活動を推し進  
めます。

議会と語る会を開催しました

議会が各地域に出向き

市民の皆様から市政に対  
する多様な意見や提言等  
をお聞きするための議会  
報告会を昨年11月に市内  
6会場で開催し、延べ187  
人に参加いただきました。

第8回目となる今回は、

少子高齢化社会を迎え、  
「子どもを産み育てやす  
い環境が整ったまち」の  
施策を検討するために、  
意見交換会のテーマを

「子育て支援について」

とし、初めてワークショ  
ップ形式を取り入れ、参  
加者全員からの意見をい  
ただけるように工夫しま  
した。

議員は開催に当たり、  
参加者の意見を引き出し  
進行できるよう事前にフ  
アシリテーション研修を  
実施し、役割分担して臨  
みました。ワークショップ  
では「課題・解決策・  
まとめ・発表」の流れで  
進行し、これまでにない

活発な意見交換  
会となりました。

また、参加者  
への参考資料と  
して総務文教委  
員会による全保  
育園の保護者500  
名を対象とした  
アンケート集計  
資料を配布し、  
活用しました。

参加者から出  
された多くの意  
見・要望等は12  
月定例会の各常  
任委員会で協

議・精査し、行政と意見  
交換を重ねました。

議会として、今後どの  
ように対応していくのか、  
現在さらに協議を進めて  
います。

次回開催に向けて、開  
催時期や時間等の改善点  
について、また今後の  
「議会と語る会」のあり  
方についても引き続き検  
討を重ねていきます。

詳細については、議会  
だより臨時号(3月配布  
予定)にて掲載しお知ら  
せします。



## 「佐久平駅アクセス道路」構想の再現を



高橋 公  
(市誠会)

いる状況です。

### 質問

当ても佐久市との関係がぎくしゃくした結果、頓挫したとは聞いた覚えがあるが。

### 建設部長

3分の2は佐久市が占めるということになるので、佐久市とは今後協議をしていきたい。

### 要望

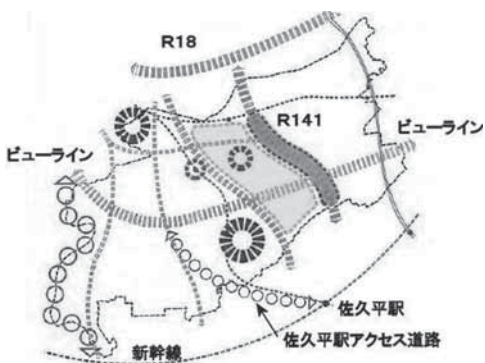
長い将来を見たときに、御牧ヶ原を目指す道が1本増えると小諸市内も幅広く宅地化を望めるのではないかと。ぜひ、いい方向になるようにお願いしたい。

### 質問

平成12年度の都市計画マスタープランにある、佐久平駅と千曲ビューラインを今よりもっと効果的につなげる「佐久平駅アクセス道路」構想の再現をぜひ提案したい。

### 建設部長

平成18年に期成同盟会は解散したが、現在内部では検討して



都市計画マスタープラン抜粋 (市内東南部地区)

## ふるさと納税の増加策はどうか 農業委員会法改正に伴う委員の任命はどうか



清水 喜久男  
(新政会)

して多くしようという気持ちを感じられない。目標額を高くして頑張るといふ攻めの戦略が必要でないか。

### 質問

ふるさと納税増加策は来年度予算編成に反映されているか。

### 市長

ふるさと納税制度を発信するとともに、同サイトから直接寄附申し込みを可能とし寄附者の増加へ繋げたい。また、寄附者へのお礼も寄附額に応じたメニューの設定や市内への宿泊券なども含め様々な種類の品物を選択できるようにすることで魅力ある制度としたい。

### 質問

小諸市のふるさと納税は平成26年度決算では1千303万円でした。平成27年度当初予算の納税見込み額は200万円であり、努力

※ふるさと納税額一位長崎県平戸市12億7千884万円

二位佐賀県玄海町9億3千206万円・三位北海道上士幌町9億1千98万円

### 市長・経済部長

今まで企画課で取り扱っていましたが、経済部やほかの部も一緒に取り組んでいきたい。

### 質問

農業委員会法改正に伴い農業委員の選出方法が公選法から市長の任命制となったが、任命についての考え方はどうか。

### 市長

今回の改正法では、現在の農業委員の任期満了後に新体制への移行となっており、小諸市では任期が平成29年7月となっておりますので、今後は農業者等への周知を図りつつ、適切な選出方法を検討したい。

## 子どもとメディアの問題 ネット依存から子ども達を守る

### 質問

子どもとメディアの問題で最も深刻な問題は、ネット依存の問題。小諸市の青少年の44%がネット依存傾向にあると推計される。全国の自治体で、子ども達の情報メディアの健全な利用に係わる条例等を制定する動きが広まっているが、小諸市においても条例、宣言等の制定が必要と思うが如何か。

### 市長

条例の制定は、様々な議論を重ねながら、必要性について検討することが重要と考えます。しかし、条例の制定が目的ではなく、現状の課題整理や保護者を含めた問題意識も改善すべき点

があると考えています。

### 質問

携帯、スマホに関する市民の問題意識が、非常に高まっていると思うが、市長はどのように感じているか。

### 市長

説明を聞いていて、非常に危機的な状況になってきているんだなど改めて認識した。やはり条例等も含めて考える時が来ているのかなというふうに、強く思った次第です。

### 質問

スマホ、携帯の使い方を子どもたち自身が考える場を設けることは如何か。

### 教育長

教育委員会として、私どもから一方的に規制をするというのは、効果がないと思います。子どもたち、親御さんたちが問題意識、認識をしっかりと持って、自分たちでルールづくりをしていくような環境づくりに協力をしていきたいと思えます。



小林 一彦  
(市誠会)

## 行財政改革で持続可能な市の運営のために 安心して安全に暮らし続けるために

### 質問

来年度予算編成に当たり、財源確保及び経費縮減策について、新たな取り組みはあるのか。

### 市長

移住定住促進、企業誘致、公共施設使用料改定、ふるさと納税制度の充実、遊休資産の売却等による財源確保と共に、経費縮減は、職員全体で知恵を絞ることができることから進めていきたい。

### 質問

経費縮減策として、以前から提言している「新電力」導入の検討を早急にすべきではないか。

### 財政課長

現在新電力導入の場合の削減効果額、安定供給、契約先選定

方法など検討中であり研究でき次第速やかに切り替える方向だ。

### 質問

「日本版ネウボラ」である妊娠・出産期から育児期まで切れ目のない総合的相談や支援をワンストップ対応できる体制整備を早期に充実すべきではないか。

### 市長

現在内容の検討を行っている。

### 質問

改正道路交通法施行と自転車の安全利用について法施行の周知と共に、ヘルメット着用、自転車保険加入の考え方はどうか。

### 環境水道部長

周知は、関係機関との連携で進めてきた。ヘルメット着用規制は考えていない。保険加入は、周知について研究していきたい。

### 質問

教育現場での自転車安全利用を徹底する必要があるのでは。

### 教育長

交通安全教室等で指導の徹底をしている。



柏木 今朝男  
(公明党)

「消防用備品配付」「駅・駅周辺のにぎわい」「子ども達の安全確保」についてはどうか



丸山正昭  
(市誠会)

経済部長

**質問** 消防用備品として、投光器の配付はどうか。

**市長**

現在7分団35部あるうち14部(基)配付済みである。残り21部(基)については、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金の地方創生先行型・上乗せ交付分の交付限度額が国から示されたことに伴い専決処分を行い、定例会にて承認いただいたので、消防団の装備充実を図るため、発電機と投光器とバルーンライトを各21基購入します。

**質問**

駅周辺にコンビニの進出ができるような検討をしているか。

経済部長

2年前、相生町商店街振興組合が相生区の住民や商店主に実施したアンケート調査の中で、商店街にどんな店や施設があるかとの設問に対し、コンビニエンスストアと回答した人が57%と一番多かった。行政自らは、コンビニの誘致はできないが、コンビニ開業を考えている方がいらつしゃれば、小諸市としても商工会議所と連携し、支援していきます。

**質問**

通学路や歩道整備の現状はどうか。

**建設部長**

県道については、県対応にて逐次整備していく。区・学校等の要請箇所は合わせて70箇所ぐらいあるが、今年度できる箇所については、今年度予算で実施したい。できない箇所については、来年度できるだけ早く実施していきたくと考えています。

公共施設現況調査の策定状況と期待している「シカ肉」の商品化施設整備は



田中寿光  
(創正会)

**質問**

公共施設現況調査の策定状況はどうか。

**市長**

公共施設現況調査は、昨年度実施した公共施設棟数等調査の情報に、コスト情報と施設の稼働率、利用者数などの管理運営情報などを加えた、施設単位の調査として整備しており、今年度中に作成する公共施設白書の付属資料となるものです。本年4月1日現在の情報により、施設所管課から調査が提出されたので、現在、財政課で集計を行っているところ です。

**質問**

ペットフード商品化事業の進

捗状況はどうか。

**市長**

平成28年度から本事業を本格的に開始するため、近隣市町村から鹿を回収するシステムとして、市町村への協力要請や事業内容、鹿回収の仕組みについて担当者レベルで意見交換を進めています。また、シカ肉に加工する商品化施設の整備については、設計委託業者が決定し、来年3月中旬までの竣工をめざして改修を進めていく計画です。

**質問**

小諸市の特産品の創出や雇用にも期待するが、どうか。

**市長**

特産品化に向けて、麻布獣医大学と共同開発契約を結び、ペットフードとして既存商品との差別化を図っていく予定です。

また、雇用については、鹿の回収作業や、解体・加工に従事する作業員を想定していますが、現在、専門性を有する人材を選定中です。



## 企業誘致の積極的な取り組みを 新公共交通システムの利便性向上を

### 質問

企業誘致の具体的な推進方策の考え方はどうか。

### 市長

企業誘致の促進は、総合戦略の地方への新しい流れをつくることで、新たな企業等の立地件数の指標を5年間で15件と設定し取り組みを進めていく。具体的な取り組みとしては、本社機能、研究開発部門の移転に対し既存の助成制度の対象となる要件を広げることで、小諸市への移転を促進したい。

### 質問

新公共交通システムは、利用者にとって利用しやすいシステムにしていくことが何より重要



山浦 利夫  
(市誠会)

だと考えます。利用者の意見をどのように受け止めているか。

### 市長

利用者ニーズを把握する貴重な情報として、随時受託事業者と情報交換を行い、より利便性の高いシステムになるよう努めていきます。

### 質問

運行形態の見直しは考えているか。

### 市長

部活帰りの子どもたちのための交通手段については、定時定路線型の運行への見直しで検討を進めたいと考えています。

### 質問

朝の便についても今の運行時間では利用できないと意見を聞いています。運行時間の見直しについてどう考えているか。

### 建設部長

定時定路線で部活帰りが対応できないか検討している。朝の便についても4月の運行に向けて検討していきたい。

## 市全域でみた

## 「新たな小諸コンパクトシティ構想」を構築できないか

### 質問・提案

総合戦略に「若い世代が家を持つまち」を掲げ、東南部を整備するとあるが、市全域でみて4つのエリアで構築できないか。「中央地区・観光及び医療福祉ゾーン。東南部地区・商業開発、移住ゾーン。川辺地区・グリーンツーリズムゾーン。西部地区・企業誘致、6次産業拠点ゾーン」とし、市全域の半径6km圏域での「新たな小諸コンパクトシティ構想」の提案です。

### 市長

それぞれの地域ゾーンの特徴を活かして行政を進めていく。

### 質問

東京圏から地方への高齢者の

移住のため医療・介護ケアを継続的に受けることができる仕組み(CCRC)はどうか。

### 市長

医療介護の負担が増大すると懸念され影響を及ぼすと考える。

### 質問

要支援・介護認定者数と介護職員の現況・見通しはどうか。

### 市長

両認定者数は約1千900人。介護施設76施設で740人余の常勤職員。年々重要性が増しているにもかかわらず取り巻く環境が厳しいと認識している。

### 質問

介護職員の待遇改善はどうか。

### 市長

人材定着に向け改善が必要。

### 質問

出生率を上げるため、婚活支援を行政主導でできないか。

### 市長

婚活関係団体への支援は効果的であるが、政府の結婚支援助成の動向を見て検討していく。



竹内 健一  
(創正会)

市民に愛され、

信頼される市政運営について



福島 鶴子  
(改革の嵐)

質問

それはごく普通、当たり前の対応。市民から「小諸市の行政には愛が無い」と聞く。これをどう理解するか。

市長

余り「愛が無い」という声は聞いていない。

質問

「愛のりくん」の駐車場が路上となっているがなぜか。

建設部長

駅前広場の改修整備が間に合わず、その様な対応をしている。

質問

対応ミスで利用者に迷惑をかけている。ケアをすべき。

建設部長

対応をしていると聞いている。

質問

野岸小問題は二度と同じ過ちを犯さないためにも、原因究明と責任の所在を明確化すべきと考えるがどうか。

市長

一番の責任は市長と考える。

野岸小学校耐震補強未実施の不祥事の原因究明  
介護予防地域指導者への支援、外郭団体の交付金はどうか



中村 憲次  
(新政会)

質問

20年間も野岸小耐震補強工事が未実施であったのは、不祥事である。行政の認識はどうか。

教育長

その指摘どおり、行政の不祥事だと認識をしている。

質問

原因究明のキーワード

①県行政への公文書に記載の数字は誤記入といえるのか。

②公文書の数字は意図的な部分ではなかったのか。

③平成17年の議会への答弁では2億円で改修済みとあるが、内容は虚偽的ではなかったのか。

教育長

現在、原因調査中で詳細は、

しっかり調査し報告したい。

市長

当時の関係した方には、すべて事情をうかがいたい。

質問

小諸市にとって高齢者対策の重要な役割を担っている介護予防地区指導者の活動支援について、行政の対応はどうか。

市長

介護予防地区指導者の活動しやすい環境を整えて指導者連絡会への交付金による活動支援、社会福祉協議会、各地区役員と連携し地域活動の支援をしたい。

質問

追跡質問であるが、2年前の公金横領事件のその後の外郭団体への交付金チェック対応は。

市長

チェック体制は、年2回の書面による会計事務の取扱調査を実施、公金管理委員会による各団体の決算管理、会計課で通帳の一括管理等、万全を期している。

協定書第10条は、大きくくりを決めているだけ。建設がある程度進んでから意見を出し合う。

質問

進んでからでは遅い。市として期待している事をあらかじめ検討、準備しておくべき。

新庁舎移転の初日、「コンシエルジュ」は考えなかったか。

総務部長

「総合窓口」をおき、ていねいに対応するようにした。

# 「納税相談は、生活相談と共に」 「教育費の保護者負担の軽減を」

## 質問

滞納となった税の徴収率は3割以下しかない。滞納の主な要因は何か。また、どのように納税に繋げているのか。

## 市長

払いたくても払えないケースでは、他の返済金があり税を後回しにするものや、固定資産税や国保税など、所得に関わらず課税されているということもある。実情に応じた納税計画等で納税につなげている。

## 質問

納税相談には生活相談も含まれると思うが、庁内の連携はどうか。

## 総務部長



柏木博美  
(日本共産党)

困窮して納められないケースでは、福祉担当につなげている。

## 質問

子育て支援の中で、市内での病児・病後児保育を希望する保護者がいる。小諸厚生病院に協力申請できないか。

## 教育次長

事務的な段階では相談している。民生部と一緒に協議を続けていきたい。

## 質問

教育費の保護者負担の軽減で、授業で使うものは公費負担できないか。

## 教育長

教育委員会として、各学校に徴収金の見直しを働きかけ、教材費等を最低限に抑えるよう話している。

## 質問

他市では、子どものインフルエンザ予防接種に補助金がでている。小諸市ではどうか。

## 市長

任意なので補助は難しい。

# 市民の一人一人が生きやすく 心地よい社会の実現を

## 質問

小中学校のいじめの現状は。

## 教育長

昨年度、小学校は4件、中学校は12件起きています。今年度の上半期は、小学校4件、中学校では6件となっています。

## 質問

不登校やひきこもり児童生徒の把握と対策は。

## 教育長

不登校等は、教育支援センターで調査し、毎月教育委員会でその後の対応についても協議しています。県内でも不登校の在籍比率は非常に高いのが小諸市で、小諸市の教育の課題として捉えております。

## 要望

いじめられた子どもが誰にも相談できないことのないようにいじめ防止対策を行政や学校の組織でしっかりとお願いします。

## 質問

ゲートキーパーの取り組みは。

## 市長

セーフコミュニティの取り組みとして、自殺予防対策委員会を設置し、平成24年よりゲートキーパー養成講座を開催し、延べ639人の方が参加しています。

## 質問

いじめ、不登校、自殺予防対策をどう地域の中で取り組むか。

## 市長

大雪の時から地域力が非常に回復しています。地域力を高める方向で、地域で弱者を見守る形に進めば、良い小諸市になるのではと思います。

## 提案

地域の絆の再生として、回覧板の手渡し運動を提案します。



土屋利江  
(公明党)

**病児・病後児保育、小諸市で実施の意思はあるか！  
野岸小問題、安全確保の緊急対応はとれているか！**



**小林 重太郎**  
(改革の嵐)

**質問**

野岸小学校南校舎耐震工事未実施問題について。児童・教職員などの安全確保の緊急な対応はとれているか。

**市長**

直ちに対応可能な対策として、北校舎の空き教室等への引っ越しを行った。併せて、南校舎に残る児童・教職員に対する対策として、緊急避難速報等をいち早く受信するための機器の設置を進めている。

**質問**

避難訓練はどうするのか。

**教育長**

従来の仕方ではなく、地震を想定してやると聞いている。

**質問**

野岸小学校北校舎等及び他の7小中学校の耐震確認はどのようにしたのか。

**市長**

過去の工事書類を改めて調査した。補強または改築工事が実施されたことを確認した。

**お年寄りが安心して暮らせる小諸市にするために！  
市長は国に対してものを言うべき！**



**早川 聖**  
(日本共産党)

**市長**

国の施策に対してどうかというようなご質問に対し、こういった場でご返事できない面もありご承知いただきたい。

**質問**

市長会等を通じて、国に対して地方の意見というものをしっかり言っていたいただきたい。

市の計画である認知症ケアパスの作成・普及、認知症初期集中支援チーム・認知症地域支援推進員の設置、認知症カフェの開設は順調に進んでいるのか。

**民生部長**

認知症ケアパスは26年度ででき、認知症カフェもこれから開設の一事業所がある。認知症初期集中支援チーム結成を2月ごろに、地域支援推進員も2月に設置をしたい。

**質問**

小諸市なりきの認知症に対する支えをしっかりとやっていく。

**市長**

認知症は誰もがなり得る病気。それを支えるには社会的基盤が大事だが、国の相次ぐ社会保障の切り捨てにより様々な悪い方向での影響が出ている。一番の原因は4月の介護報酬改定の影響だと思うが、市長はその点どのように捉えているのか。

**質問**

「4月の介護報酬改定の影響で悪い方向が出ているのではないか」に対する答弁がない。再度市長の所見を伺う。





神津眞美子  
(新政会)

## 厳しい財政状況だからこそ 自主財政確保の道すじを!!

### 質問

予算編成の基本方針では、自主財源の確保に最大限努めるとあったが、目標値は。

### 財政課長

数字はまだ固まっていない。

### 質問

市政経営からして目指す数字がなくて実績が上がるのか。

### 財政課長

国の地方財政計画ができていないので、年明けぐらいになる。

### 質問

自らの努力で増やす額は。

### 財政課長

目標値の計上にはならない。

### 質問

自主財源を確保するには、現

在ある企業を支援して収益を上げると共に、小諸市の資源を生かして新しく事業を起こす起業への支援も重要だ。こうした視点から見て、この度の地方創生

先行型交付金で5千万円の予算が付いた有害鳥獣商品化施設整備事業は起業ともいえ、その可能性に期待する。ペットフードと並行して、ジビエ料理を視野に入れて対応できないか。

### 経済部長

ペットフードだと簡単な施設でも可能だが、食肉に近いものにして社会的な信用を高めていきたいと考えている。ジビエについては予算的に厳しく、この場で出来るといえず残念だが、将来に向けて可能性が開けるよう、施設も拡張性があるような整備はしていきたい。

### 意見

小諸市はワイン特区に認定され、小諸ワインとジビエ料理のコラボも考えられるので、先を見すえた研究と対応を期待する。

## TPP・オスプレイ訓練飛行は 市長として国に反対意見書を上げるべき

### 質問

TPPについて、市は農家を守るための対策を国に要望する考えはあるか。

### 市長

国・県との意見交換会の際に経営所得安定対策・経営体育成支援策や農産品のブランド化・6次産業化への積極的な支援策を要望していきたい。

### 質問

米価よりも生産コストの方が上回り、作れば作るほど赤字になってしまう状況が生まれている。TPPを受け入れないという意思表示を地方自治体として国に示すべき。

### 市長

一自治体として特に国へ直接言うということは、例がないと思う。市長会等を通じて上げていく形になると思う。

### 質問

アメリカ空軍の特殊作戦機オスプレイが小諸市上空で訓練飛行することについて、市として国に飛行中止を求める意見書を上げたかどうか。

### 市長

県を通して安全性や訓練に関する詳細な説明、飛行高度や飛行区域に関する日米合同委員会合意事項を遵守することなどを強く要望した。飛行中止を求める意見書は国・県の動向を注視し対応していきたい。

### 質問

飛行ルートなど目的からして公表するはずがない。ここで訓練をさせない、横田基地をアメリカ軍の作戦基地化させないという要望を出してもらいたい。

### 市長

答弁申し上げたつもりだ。



掛川剛  
(日本共産党)

旧小諸本陣（問屋場）修復整備について  
都市計画街路「本町線」・「市町線」について



林 稔  
(無所属)

質問

旧小諸本陣の修復整備について、どのように進められるのか。

教育長

文化庁の調査官に現地を見ていただいた。平成28・29年度に調査、30年度着工の計画で保全修理事業を進める旨の指導を受けた。来年度には、応急的工事を実施していく。

質問

平成5年に寄贈されて以降、22年間一般公開されなかった一番の原因はどこにあったのか。

教育次長

前面道路（市町線）の上に軒が出てることが支障となつて、また周辺環境条件も悪く、計画

できなかったと認識している。

質問

懐古園から小諸宿方面への周遊整備を進めてきた。市町線周辺にも問屋場や脇本陣等歴史建造物やまち並みがあるが、歩道もないし、幅員12mに拡幅の都市計画道路で後退線が適用されると修復計画に矛盾が生じないか、その点いかがか。

市長

市町線の拡幅はどう考えても無理のため、例えば県道の付け替えをして一方通行にするなどの方法で、歩行空間の創出を図りたいと認識している。

質問

6月議会でも質問した、歩行者優先道路・本町線のその後の進捗状況はどうか。

市長

関係機関との協議を重ねた結果、歩行者等の安全通行を確保する目的で、年内には車の速度30キロ以下規制の「ゾーン30」が行われる。

議員紹介コーナーへ おいでなんし パート1

質問事項 ①居住地 ②趣味 ③座右の銘 ④つぶやき

3番 掛川 剛議員  
会派 日本共産党



- ①山浦（上ノ平）
- ②山登り・沢登り・木登り伐採
- ③ダメでもともと
- ④岩登りも、難しい木の伐採も、無理なようでいてどこかに解決の糸口がある。それを見つけたのが面白いんだなあ。

2番 土屋利江議員  
会派 公明党



- ①井子
- ②書道・スポーツ観戦
- ③生涯青春
- ④三世代同居で毎日、変化のある生活を楽しんでいます。今後の将来が、不安だらけですが、希望のある社会実現を目指したいと思います。

1番 高橋公議員  
会派 市誠会



- ①耳取
- ②野球・釣り・自転車
- ③練習は試合のつもり、試合は練習のつもりでやれ
- ④3・11があった4年前の夏、マイクロバスの免許を取りました。今年も少年野球チームと一緒に泊りで千葉まで行って来ました。

# 研修で議員カアップ



グループに分かれて実践研修

小諸市議会では、議会がないときは、周辺市町村の議会や関係団体等との研修会や意見交換会で研鑽を積み、議員としての資質向上に取り組んでいます。

9月定例会以降に開催された研修会は、次のとおりです。

## 9月30日 ファシリテーション研修

本年度の「議会と語る会」を市民の皆様と活発に意見を交わすものにするため、「会議を円滑にするファシリテーション」と題し、議員研修会を開催しました。

講師には、早稲田大学 マニフェスト研究所事務局長の中村健氏を迎え、市民とのコミュニケーション手法を学びました。

## 10月19日 小諸市総合戦略策定のための意見交換会

今年度は通年で行政執行部と合同で研修会を開催しています。その一環として、この日は執行部より小諸市総合戦略案の説明があり、活発に意見を交わしました。

## 10月22日 嬭恋村議会と小諸市議会

嬭恋村議会と小諸市議会では、嬭恋一小諸間の村道・市道の県道昇格に向け期成同盟会を組織し、県への要望活動を行っています。こうした活動から、両議会の共通の課題について、毎年合同で研修会を開催しています。

本年は、嬭恋郷土資料館にて、東京大学名誉教授の荒巻重雄氏の「浅間山の歴史と現状について」の講演をお聞きしました。

## 10月23日 浅麓地域活性化議員懇談会

本年度は中軽井沢駅くっつけテラスにて開催しましたが、軽井沢町議会の呼びかけにより、移動に「しなの鉄道」を利用しての参加となりました。冒頭で、軽井沢町議長より、県議選の選挙区見直し等について、3議会で検討していくよう提案があり、確認しました。

## 10月26日 東信5市議員研修会

上田・佐久・東御・千曲市との研修会を小諸市で開催しました。

講師に三菱UFJリサーチ&コンサルティング 研究員の大塚敬氏を招き、「総合戦略の策定と運用について」講演いただきました。

## 10月27日 東御市・立科町議会との議員研修会



平成27年度小諸市・東御市・立科町議会議員

「地方創生に係る県の状況について」をテーマに、長野県企画振興部総合政策課の尾島信久氏を講師に迎え研修しました。

## 11月12日 長野県地方自治政策課題研修会

長野県議会が主催する研修会に参加しました。

講演は「長野県地方創生総合戦略について」を長野県議会地方創生総合戦略研究会会長本郷一彦氏に、また、「世界で選ばれる続ける地域とは」を長野県観光戦略アドバイザー山田桂一郎氏にお聞きしました。

## 11月13日 小諸商工会議所との意見交換会

小諸市経済の発展のため、商工会議所との意見交換会を開催しました。

商工会議所からは、小諸市経済の活性化と中小・小規模企業の持続的な発展のための要望・提案の説明がありました。

市議会からは、まち再生特別委員会の調査経過説明及び、議会報告会の実施結果などの説明をしました。

意見交換では、活発で有意義な意見を交わしました。



商工会議所と意見交換の様子

12月10日  
まち再生  
特別委員会  
報告

9月定例会以降の主な活動報告をします。

にぎわいづくり部会

市民、関係団体との意見交換や先進地視察等の調査・研究の結果を提言書にまとめました。

公共交通部会

10月から試験運行が始まった「こもろ愛のりくん」の試乗調査や、東御市への先進地視察等を踏まえ、担当課と意見交換を行い、試験運行の6カ月延長と予約時間の緩和の2項目について、改善が必要との認識から、再検討を要請しました。

市長へ提言書を提出

各部会の調査・研究をもとに、コンパクトシティによる中心市街地活性化について、委員会として議論を行い、10項目の

提言書にまとめ、議長に提出しました。

その後、「第5次基本構想」の策定に反映されるよう申し添え、議会として正副議長と一緒に市長に提出しました。



小諸厚生総合病院と意見交換

病院再構築の建設規模等に変更はなく、12月7日に入札公告を行ったので、3月中旬には建設工事に着工し、平成29年12月の開院を目指していくとの報告がありました。委員からの病児・病後児保育の考え方について質疑に対し、常勤の小児

科医が1人しかいないこともあり、まだ具体的な検討はしていないとの答弁でした。

また、協定書にある実務者による組織の設置についてはどうなっているかとの質疑に、内容について市と病院で協議しているとの答弁がありました。

公共交通について担当課と意見交換

担当課から試験運行中の「こもろ愛のりくん」について、利用者からの要望を受け、乗降場所を倍に増やしたことで、予約受付を1時間前までにしたことなどが報告されました。

委員より、利用者の利便性の向上では、多くの課題が出てきているが、試験運行の延長についてはどうか、との質疑があり、コミュニティ交通協議会で協議していただき、この答弁がありました。

傍聴席



芦原中学校3年 武藤 衣里加 さん

芦原中学校3年の武藤衣里加です。12月に社会科の授業で小諸市議会を傍聴させていただきました。内容は「ふるさと納税」と「野岸小の校舎の建て替え」でした。印象に残っていることは、話し合いが途切れず質問にすぐ返答したり、活発に意見を交わしたりする市長さんや、議員の皆さんの姿です。そのような姿を見ていつも私たちや小諸市のために真剣に頑張ってくれていることが分かり、嬉しく思いました。社会科の授業で、小諸市は自主財源の割合が少なめであると習いました。小諸市は駅や国道付近以外はさびしい印象を受けるので、より活発な市を目指して自主財源も確保していったほしいです。



八代区 野口 八江子 さん

新議場となった12月定例会には、大勢の傍聴者がお越しくださいました。4月から女性学級に申し込み、12月には新庁舎の見学と市議会傍聴があり参加しました。市の職員さんから、傍聴席の配置を質問者と答弁者、両方の顔が見えるようにしたとの説明がありました。その時は福島鶴子議員が質問に立っており、確かに顔がはっきり見え、質問の内容も答弁もよく聞き取れました。質問の内容は、私も普段から感じていたことなので、市長や職員の答弁にはいささか歯がゆさを感じてしまいました。公共施設だけが立派だと言われないう、公平で、老いも若きも安心して暮らせる町づくりを切に望みます。

編集後記

『学校が真ん中にあり 稲の村』 高浜虚子 虚子が小諸に疎開していた時期の句です。学校は、子どもたちの学び、育ちの場。ただそれだけではなく、大人たちにとっても、地域の交流・コミュニティの中心でもある。そして 心のふるさと。 さて、『学校改築計画づくりに向けての懇談会』が市内6小学校で開催されました。28年度中に策定予定ですので、あくまでも個人の感想として。 キーワードは、『地域の学校』 6校のすべてで、地域の人々の熱く語る言葉には、どこかこの虚子の句の情景を想起させるものがありました。 子どもたちの未来へ、時代の流行に翻弄されることなく、むしろ原点に回帰すべきことを、この句は教えてくれているような気がします。

(重)

